

5. 外国語の履修について

国際高等教育院では、外国語科目群として、英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語を開講しており、英語以外の外国語を、一律に初修外国語と称しています。

英語および初修外国語（以下、「外国語」）の履修にあたり、各学部の必要単位数と履修の要件（各学部の指示事項、学部便覧等）を確認した上で、後述の指示に従い科目を選択してください。なお、各制限事項に反する予備登録・先着順申込（以下、「事前申込」）、履修登録は全て無効であり、単位の認定もされないので注意してください。

(1) 全ての外国語についての注意事項

- ① 平成27年度以前の卒業要件が適用される学部生が、外国語科目を履修し、単位を修得した場合には、各科目の単位数の2分の1のみ卒業に必要な単位として算入されます。各科目の単位数は「III. 4. 全学共通科目授業一覧」(p.126～)を参照してください。
- ② 初修外国語の初級の履修にあたっては、原則として以下のとおり履修しなければなりません。
 1. 日本語以外において、[IB (文法) /IB (演習)] を履修するためには、[IA (文法) /IA (演習)] の履修歴を有すること。
 2. イタリア語および日本語以外は前・後期それぞれに同一言語の2クラス（文法、演習）を履修すること。
 3. イタリア語は前・後期それぞれに文法、演習または4Hコースのクラスを履修すること。
 4. 日本語はプレースメントテストの結果に従い、履修クラスを選択すること。
- ③ 入学時に初修外国語初級免除申請（国際高等教育院ウェブサイト (<https://www.z.k.kyoto-u.ac.jp/freshman-guide/language/remission>) を参照) の手続きにより中級からの履修を認められた学生は、本学で初級の単位を修得することなく中級以上の科目を履修することができます。この場合、学部1回生時は上級回生に配当されている科目を履修することになるため特別履修の手続きを経て履修してください (p.49 参照)。学部2回生以降は通常の事前申込を行ってください。なお、初修外国語初級免除は初級の単位数が免除されるのではなく、卒業に必要な単位数を中級以上で修得しなければなりません。
- ④ 入学時に認定された既修得単位で外国語の中級以上の科目を履修するための要件を充足した学生が、学部1回生時に当該外国語の中級以上の科目の履修を希望する場合は、前期・後期とも、それぞれ履修登録期間の最終日の13:00までに全学共通科目学生窓口まで相談に来てください。学部2回生以降は通常の事前申込を行ってください。
- ⑤ 通常、同じ科目名の科目を2つ以上修得した場合は、修得年度・修得期の早いもの1つしか卒業に必要な単位として認められません。また、1週間のうちに複数開講されている科目は同一開講期に1つしか履修登録できません。しかし、次の外国語科目は例外として複数履修することが可能です。ただし、同一テキストまたは同一教員が同じ内容で授業を行う科目の重複履修はできません。重複履修不可クラスは、各外国語のページを参照してください。なお、一開講期に履修できるクラス数の上限は、各外国語のページを参照してください。

[英語リーディング]

[ドイツ語IIA・IIB、IIA (会話)・IIB (会話)、IIA (CALL)・IIB (CALL)、IIA (ライティング)・IIB (ライティング)、IIIA・IIIB]

[フランス語IIA・IIB、IIA (演習)・IIB (演習)、IIIA・IIIB]

[中国語IIA・IIB]

[ロシア語IIA・IIB、IIIA・IIIB]

[イタリア語IIA・IIB、IIA (演習)・IIB (演習)]

[スペイン語IIA・IIB、IIA (演習)・IIB (演習)]

[朝鮮語IIA・IIB、IIA (演習)・IIB (演習)]

[アラビア語IIA・IIB、IIA (演習)・IIB (演習)]

- ⑥ 原則として、外国語科目名のAは前期、Bは後期を意味しています。修得できなかった中級以上の初修外国語を履修登録する際に、開講期を揃える必要はありません（例：修得できなかった「ドイツ語IIB」分の単位を翌年度の「ドイツ語IIA」で修得することができます）。英語リーディングは開講期の区別がありませんので、修得できなかった「英語リーディング」分の単位を翌期に開講される「英語リーディング 単位未修得者クラス」で修得することができます。
- ⑦ 事前申込を要する科目は、まず、予備登録期間に履修を希望するクラスに申し込みをしてください。予備登録期間終了後、定員に空きがあるクラスは先着順申込受付期間に先着順で申し込みを受け付けます。(p.55 参照)。

- ⑧ 日本語を母語としない外国人留学生は、母語である言語を外国語として履修することが原則としてできません。ただし、学部により取り扱いが異なりますので、各学部の便覧等を確認してください。

(2) 学部 1 回生の履修クラスについて

- ① 入学予定者サイトで英語、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語またはアラビア語を選択した場合には履修クラスを指定します。KULASIS の履修登録ページで確認の上、指定されたクラスを履修してください。ロシア語、イタリア語、朝鮮語を選択した場合は、各自で開講されているクラスの中から選んで履修してください。日本語を選択した場合は、指示に従って履修してください (p.67 参照)。
- ② 「英語ライティングーリスニング A 上級」、「英語ライティングーリスニング B 上級」、「ドイツ語 I (6H コース)」、「フランス語 I (8H コース)」は、自由選択制です。ただし、「英語ライティングーリスニング A 上級」、「英語ライティングーリスニング B 上級」の履修にあたっては要件があり、事前の申請が必要となります (p.57 参照)。「ドイツ語 I (6H コース)」、「フランス語 I (8H コース)」は通年科目ですので、履修登録した場合 (履修取消した場合を除く)、後期に IB (文法)、IB (演習) の履修クラスを指定しません。
- ③ 学部 1 回生の外国語は全て第 1 回目の授業時間に教室に集合してください (履修クラスが指定されている場合は教科書持参のこと)。履修クラスが指定されていない科目は、履修希望学生が多数の場合に急きょ人数制限を行うことがあります。英語のクラス編成は、リーディングとライティングーリスニングとで異なりますので、KULASIS [4 月 2 日 (水) 発表] で各自確認してください。
- ④ 前期に「英語リーディング」・「英語ライティングーリスニング A」・「ドイツ語 IA」・「フランス語 IA」・「中国語 IA」・「スペイン語 IA」を履修し単位を修得できなかった場合、後期開講の「英語リーディング単位未修得者クラス」・「英語ライティングーリスニング A 単位未修得者クラス」・「ドイツ語 IA 再履修クラス」・「フランス語 IA 再履修クラス」・「中国語 IA 再履修クラス」・「スペイン語 IA 再履修クラス」をそれぞれ履修することにより、当該科目の単位を同一年度に補うことができます。これらは事前申込が必要です。事前申込についての詳細は、「(3) 学部 2 回生以上の履修クラスについて [事前申込]」を参照してください。ただし、学部 1 回生が KULASIS の外国語予備登録ページにアクセスし、上記の単位未修得者クラス・再履修クラスに申し込むことができるのは、前期に「英語リーディング」・「英語ライティングーリスニング A」・「ドイツ語 IA」・「フランス語 IA」・「中国語 IA」・「スペイン語 IA」を履修し単位を修得できなかった場合に限りです。
- ⑤ 入学予定者サイトで選択した外国語の変更を希望する場合、また 3 か国語以上の外国語の履修を希望する場合は、前期は履修登録期間の最終日の 13:00 までに全学共通科目学生窓口へ申し出てください。ただし、令和 7 年度のアラビア語初級およびスペイン語初級においては人数制限を実施する都合上、申し出が認められないことがあります。後期から英語、ドイツ語またはフランス語への変更または 3 か国語以上の外国語として新規履修を希望する場合は、各自で予備登録してください ((3) 学部 2 回生以上の履修クラスについて [事前申込] 参照)。ただし、後期の外国語予備登録ページにおいて単位未修得者クラス・再履修クラスに申し込むことができる学部 1 回生は上記④のただし書きの場合に限られますので、該当しない場合は速やかに全学共通科目学生窓口へ申し出てください。履修登録期間の最終日の 13:00 まで申し出を受け付けます。後期から日本語の履修を希望する場合は、指示に従って履修してください (p.67 参照)。

(3) 学部 2 回生以上の履修クラスについて [事前申込] (一部、学部 1 回生後期を含む)

学部 2 回生以上は、各外国語とも全て自由選択制となっていますが、英語・ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語については、下記のとおり事前申込が必要です (「ドイツ語 I (6H コース)」、「フランス語 I (8H コース)」は除く)。

授業開始日前に申し込みの受付が始まりますので、申込期間に注意してください。外国語予備登録ページは予備登録開始日の約 2 週間前 (前期は 3 月中旬、後期は 9 月中旬) から KULASIS に表示されます。事前申込の日程は、掲示等により事前に周知します。

また、外国語予備登録等に関してよくある質問をまとめた「外国語予備登録 Q&A」を国際高等教育院ウェブサイトの「在学生・学内の方へ」の Q&A 内に掲載していますので、参考にしてください。

日本語については p.67 の指示に従って履修してください。その他の外国語 (ロシア語、イタリア語、朝鮮語、アラビア語※中級) については事前申込は不要ですが、履修希望者多数の際は人数制限を行うことがあります。掲示による指示がある場合はそれに従い、ない場合は必ず第 1 回目の授業に出席してください。

※令和7年度のアラビア語初級においては人数制限を実施する都合上、前期・後期とも学部2回生以上が履修を希望する場合には事前申込が必要です。授業開始前に申し込みを受け付ける予定ですが、詳細は掲示等でお知らせします。なお、アラビア語中級については事前申込は不要ですが、必ず第1回目の授業に出席してください。

《英語単位未修得者クラス、初修外国語（ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語）新規履修・再履修クラス・中級等の事前申込について》

事前申込（予備登録・先着順申込）は、下記のとおり KULASIS から行います。ただし、スペイン語再履修クラス、スペイン語学部1回生向けクラス指定科目の新規履修は別途申し込みを受け付けます（外国語予備登録ページに申込方法を別途掲示します）。

なお、事前申込が必要な通年クラスには前期に申し込むため、後期の事前申込は必要ありません。

①予備登録

（対象学生）

前期の外国語予備登録は、2回生以上の学部生が対象です。

後期の外国語予備登録は、2回生以上の学部生に加え、単位未修得者クラス・再履修クラスを履修する学部1回生も対象です。

事前申込が必要なドイツ語、フランス語、中国語またはスペイン語のクラスの履修を希望する大学院生は、「②先着順申込」から申し込みを受け付けます。（大学院生は、本予備登録の対象外です。）

（方法・手順） ※「全・英」の表示がある E1・E3 科目の予備登録期間2と同時並行で実施します。

KULASIS の外国語予備登録ページから、希望クラスを申し込んでください。前期・後期とも、授業開始前に期間を設け、4平日にわたって各日 8:00 から 18:00 に申し込みを受け付けます。各日とも、申込締め切り後、申込者数が定員を超えたクラスについて抽選を行います。2日目以降は、前日までの抽選の結果、定員に達しなかった科目のみ申し込みを受け付けます。

1回の申込につき各カテゴリーごとに1クラスに申し込むことができます。カテゴリーは、各外国語においてそれぞれ複数設定されており、外国語予備登録ページの申込画面で確認することができます。1カテゴリーにつき2科目以上の申し込みをする場合は、まず、1科目のクラスが決定してから、2回目の申込日以降に2科目めの申し込みを行ってください。

外国語によって再履修クラスの有無や、クラス定員や登録可能クラス数の上限が異なるので、詳細は「(4) 各外国語科目の説明と履修上の注意事項」（次頁以降）のほか、外国語予備登録ページに掲載される内容を確認してから申し込んでください。

（抽選・結果発表）

各日の抽選終了後、結果をメールで送信します。結果は KULASIS の外国語予備登録ページでも確認できます。落選した場合、および同一カテゴリーの2科目めを申し込む場合は、同じ方法で次回の申込日以降に申し込んでください。

4回目の申込日の抽選終了後、予備登録で許可された科目（キャンセルした科目を除く）が KULASIS の履修登録候補科目設定画面に表示されます。

②先着順申込

（対象学生）

先着順申込は、すべての学部生・大学院生が対象です。

（方法・手順）

「4. 履修登録について」の「(1) 履修登録までの事前申込手続き」に記載の「②先着順申込」（p.47～）を参照してください。

③履修登録期間および履修登録確認・修正期間

予備登録・先着順申込により履修が許可された科目が KULASIS の履修登録候補科目設定画面に表示されていることを確認の上、必ず「確定」ボタンを押してください。予備登録・先着順申込だけではまだ履修登録は終わっていません。

(4) 各外国語科目の説明と履修上の注意事項

A. 英語の科目編成

英語は大別して、リーディングクラスとライティング・リスニングクラスの二つの区分があり、それぞれを履修しなければなりません。前者は、学部の履修方針に応じた学術的な文献やまとまった長さを持つ洋書などのアカデミックリーディングを通じ、英語による学術的教養の涵養を目標としています。後者は、エッセイやレポートなどのアカデミックライティングを通じ、学術的言語技能を養うことを目標としています。また、オンラインによるアカデミックリスニング課題に取り組むことにより、英語による講義の聴講を念頭に置いた聴解力の育成を目指します。いずれのクラスも、大学の英語科目としてふさわしい内容とレベルを考慮しています。

ライティング・リスニングクラスについては、上級者用クラス（「英語ライティング・リスニング A 上級」、「英語ライティング・リスニング B 上級」）を開講します。これらのクラスは自由選択制であり、申請し認められれば、指定クラスの代わりに履修することができます。申請の手続きおよび日程の詳細については、ガイダンスおよび KULASIS での案内をご覧ください。

平成 30 年度をもって平成 27 年度以前学部入学者対象の英語Ⅱは廃止されました。平成 27 年度以前学部入学者で卒業に必要な英語Ⅰ・Ⅱの単位を充足していない場合は、「全・英」の表示がある E1・E3 科目を履修してください。平成 27 年度以前学部入学者は英語リーディングおよび英語ライティング・リスニング A・B を履修することはできません。

◆ 英 語 ◆

《英語》〔E〕（平成 28 年度以降学部入学者対象）

※事前申込は p.55 参照

科目名	符 号	開講期	単 位	対象回生	定員	事前 申込	備 考
英語リーディング	ER	前期	2	1 のみ	約 40	要	学部 1 回生専用クラス・アカデミックリーディング
		後期	2	1 のみ	約 40		
	ESR	前期	2	2 以上	約 60	要	単位未修得者クラス
		後期	2	1 以上	約 60		
英語ライティング・リスニング A	EWLA	前期	2	1 のみ	約 20	別途 申込 期間 を設 ける	学部 1 回生専用クラス・アカデミックライティング&リスニング
		前期	2	1 のみ	約 25		学部 1 回生専用上級クラス・アカデミックライティング&リスニング
	ESWLA	前期	2	2 以上	約 50		要
後期	2	1 以上	約 50				
英語ライティング・リスニング B	EWLB	後期	2	1 のみ	約 20	別途 申込 期間 を設 ける	学部 1 回生専用クラス・アカデミックライティング&リスニング
		後期	2	1 のみ	約 25		学部 1 回生専用上級クラス・アカデミックライティング&リスニング
	ESWLB	前期	2	2 以上	約 50		要
後期		2	2 以上	約 50			

【履修上の注意】

- ◇ 英語は全て半期科目で、各 2 単位です。アカデミックリーディングの英語リーディング (ER) と、アカデミックライティング&アカデミックリスニングの英語ライティング・リスニング (EWLA および EWLB) に区分されています。
- ◇ 学部 1 回生は開講期ごとに、英語リーディングと英語ライティング・リスニングを両方履修してください。
- ◇ 4 月 12 日 (土) に実施予定の TOEFL ITP 試験の受験を、学部 1 回生後期以降の英語科目の履修登録の要件としています。英語選択者は必ず受験してください。なお、英語選択者以外の者で、後期から英語を新規履修しようとする場合も、後期開始前に TOEFL ITP 試験を受験する必要があります。該当する場合は、速やかに全学共通科目学生窓口申し出てください。

◇12月6日(土)に実施予定の TOEFL ITP 試験の成績を、後期開講の英語ライティングリスニング B の成績評価の一部として利用します。詳細はシラバスで確認してください。

◇英語ライティングリスニング B 単位未修得者クラスにおいても、成績評価の一部として学部 1 回生時の後期に受験した TOEFL ITP 試験の成績を利用します。なお、希望すれば改めて TOEFL ITP 試験を各自で受験し、その成績を成績評価の一部として利用することができます。ただし、その受験料(約 5,000 円)は、履修者の負担とします。

◇英語ライティングリスニング A・B では、以下の 1) ~ 3) のいずれかの判断基準を満たす学生を対象に上級クラスを開講します。より発展的な英語学習を希望する人は積極的に受講してください。履修可否の判断に必要ですので、履修希望者は原則として初回授業を受講してください。履修可否を判断するにあたって初回授業の履修姿勢を考慮することがありますので、履修希望者は原則、初回授業を受講してください。履修希望者多数の際は履修(人数)制限を行います。申請期間や申請方法、オンラインリスニング課題の取り扱い、成績評価方法などの詳細については、ガイダンスやリスニングオフィスアワーにおいて説明します。事前案内は、前期は 4 月初旬、後期は 9 月下旬に掲示します。

- 1) TOEFL iBT のスコアが 80 以上の学生、もしくは IELTS のスコアが 6.0 以上の学生
- 2) 学部 1 回生の 4 月に一斉受験する TOEFL ITP で 600 点以上のスコアがあった学生(「英語ライティングリスニング B 上級」履修の場合に限る)
- 3) 英語を日常的に使用する環境(外国の学校、インターナショナルスクールなど)で教育を受けた学生のうち、国際高等教育院で実施する資格審査に合格した学生

◇学部 1 回生専用英語リーディングおよび英語ライティングリスニングは事前申込不要ですが、単位未修得者クラスは事前申込が必要です。事前申込については、国際高等教育院ウェブサイト(<https://www.z.k.kyoto-u.ac.jp>)の「在学生・学内の方へ」の Q&A 内から「外国語予備登録 Q&A」も確認してください。

◇英語リーディングの単位が不足している場合は、開講期に関係なく単位未修得者クラスを履修してください。例えば、前期開講の英語リーディングの単位を、後期開講の英語リーディング単位未修得者クラスの単位で補うことが可能です。

◇前・後期にかかわらず、英語リーディング単位未修得者クラス、英語ライティングリスニング A 単位未修得者クラスと英語ライティングリスニング B 単位未修得者クラスが開講されますが、一開講期に履修できる単位未修得者クラスは、原則英語リーディングが 1 クラス、英語ライティングリスニング A または B から 1 クラスです。なお、この場合も英語ライティングリスニングは A を先に履修することを推奨します。ただし、その開講期終了時の卒業や進級・コース分属などのため、当該期に英語リーディング単位未修得者クラスを 2 クラス、または英語ライティングリスニング A および B 単位未修得者クラスの履修を希望する学生は、前期・後期とも、それぞれ履修登録確認・修正期間の最終日の 13:00 までに全学共通科目学生窓口へ申し出てください。1 クラス目は各自で事前申込をしてください。

◇学部 1 回生の後期開始段階で英語リーディングまたは英語ライティングリスニング A の単位を修得していない場合は、学部 1 回生の後期に対応する単位未修得者クラスを履修し、不足単位を補うことができます。ただし、英語ライティングリスニング A 単位未修得者クラスと英語ライティングリスニング B の並行履修は推奨しません。前期に英語ライティングリスニング A の単位を修得していない学生は、後期に英語ライティングリスニング A 単位未修得者クラスのみを履修することを推奨します。

◇入学時に認定された英語リーディングまたは英語ライティングリスニング A・B に相当する既修得単位がある学生が、残りの英語の不足単位分を修得する場合は、英語リーディングまたは英語ライティングリスニング A・B を履修するのが原則です。

◇大学院生は、英語リーディングおよび英語ライティングリスニングを履修することはできません。

◇工学部 25 組(地球工学科国際コース所属学生および地球工学科所属 Kyoto iUP 生)は、次のクラス指定されている英語を履修してください。

科目名	開講期	単位※	対象回生	事前申込	備考
Scientific English I A (Reading and Writing)	通年	4	1 以上	/	工学部 1 回生 25 組 クラス指定科目
Scientific English I B (Technical Communication & Discussions)	通年	4			

※平成 27 年度以前の卒業要件が適用される学部生が履修し、単位を修得した場合には、上記単位数の 2 分の 1 が卒業に必要な単位として参入されます。

B. 初修外国語（英語以外の外国語）の科目編成

①学部1回生の授業（初級）

初級の「文法」と「演習」の授業は、それぞれ相互に補いながら行われます（〇〇語IA（文法）・IB（文法）・IA（演習）・IB（演習）で8単位修得することが標準）。また、この標準的なコースの他に、インテンシブ・コースなどがある外国語もあります。学部1回生向けの授業は、当該言語の基本的構造や表現を学ぶことで、その言語圏の文化に触れるとともに、学術的言語技能の基礎を養うことを目標としています。

②学部2回生以上の授業（中級・上級）

中級では、「精読」「作文」「会話」「聴き取り」などを通じて言語技能を向上させると同時に、その言語共同体の文化や思考方法を理解するための授業が行われます。中級の授業は、初級の授業で身につけた基礎的言語技能を充実させ、学術的言語技能の涵養に資することを目標としています。

上級の授業では、高度な内容の文章を読むこと、書くこと、口頭で発表することなどが行われます。上級では、中級で身につけた言語技能をさらに発展させ、学術的言語技能の修得を目標としています。

※ 初修外国語（中級・上級）履修上の例外措置について（ドイツ語・フランス語・中国語）

初修外国語（中級・上級）については、原則として、一開講期に2クラスまで履修することができます。ただし、卒業回生で、一開講期に3クラス以上履修することにより、その開講期終了時の卒業が期待できる場合は、「一開講期に2クラス以内」という制限を緩和する例外措置をとることがあります。修得済み単位数が卒業に必要な単位数（ただし、卒業論文などの必修科目の単位数の関係で90%超の要件を満たすことが不可能な場合は、その必修科目の単位数を除く）の90%を超えていることを証明できる成績表（の写し）などを持参のうえ、前期・後期とも、それぞれ履修登録確認・修正期間の最終日の13:00までに全学共通科目学生窓口へ申し出てください。2クラスは各自で事前申込をしてください。

この例外措置は、ドイツ語、フランス語、中国語に限り適用されます。

※ 大学院生の初修外国語の履修について

大学院生が KULASIS での事前申込が必要なドイツ語、フランス語、中国語またはスペイン語のクラスの履修を希望する場合は、定員に空きがあるクラスについて、先着順申込受付期間に、KULASIS で申し込みをしてください。ロシア語、イタリア語、朝鮮語のクラスの履修を希望する場合は、担当教員の許可を得たうえで、履修登録してください。

（アラビア語初級の履修について）

令和7年度のアラビア語初級においては人数制限を実施する都合上、前期・後期とも履修を希望する場合には事前申込が必要です。授業開始前に申し込みを受け付ける予定ですが、詳細は掲示等でお知らせします。なお、定員に空きがないクラスについては履修が認められないことがあります。

◆ ドイツ語 ◆

《ドイツ語Ⅰ（初級）》〔D1〕 ※事前申込は p.55 参照

科目名	符号	開講期	単位	対象回生	事前申込	備考
ドイツ語ⅠA（文法）	D11A	前期	2	1 以上	学部2回生 以上は要	学部1回生向けクラス指定
ドイツ語ⅠA（演習）	D12A	〃	2			
ドイツ語Ⅰ（6Hコース）	D15	通年	12	1 以上		
ドイツ語ⅠA（文法）再履修クラス	D11A	前期	2	2 以上	要	集中クラス（CALL）あり。集中クラスはI BまたはIの履修履歴のある学生に限る。
ドイツ語ⅠA（演習）再履修クラス	D12A	〃	2			
ドイツ語ⅠB（文法）再履修クラス	D11B	〃	2			
ドイツ語ⅠB（演習）再履修クラス	D12B	〃	2			
ドイツ語ⅠB（文法）	D11B	後期	2	1 以上	学部2回生 以上は要	学部1回生向けクラス指定
ドイツ語ⅠB（演習）	D12B	〃	2			
ドイツ語ⅠA（文法）再履修クラス	D11A	〃	2	1 以上	要	集中クラス（CALL）あり。集中クラスはI AまたはIの履修履歴のある学生に限る。
ドイツ語ⅠA（演習）再履修クラス	D12A	〃	2			
ドイツ語ⅠB（文法）再履修クラス	D11B	〃	2	2 以上		
ドイツ語ⅠB（演習）再履修クラス	D12B	〃	2			

【履修上の注意】

- ◇平成27年度以前の卒業要件が適用される学部生が履修し、単位を修得した場合には、上記単位数の2分の1が卒業に必要な単位として算入されます。学部2回生以上の新規履修者は、学部1回生向け指定クラスのいずれかを選び履修してください。ただし、（文法）と（演習）の双方が必要な場合はペアとなっているクラスで履修してください。1クラスのみ履修希望の場合は（文法）を履修してください。IA・IBを通して同じクラスで履修することが望めます。
- ◇後期から新たにドイツ語を履修する学生は、ドイツ語IA再履修クラスを履修してください。なお、集中クラス（CALL）は、再履修者に限るため履修できません。
- ◇（6Hコース）は（文法）と（演習）の代わりに履修することができます。
- ◇<初級>の再履修者は、<初級>の再履修クラスを履修してください。<中級>・<上級>の単位を<初級>に替えることはできません。
- ◇平成27年度まで開講のドイツ語IA（実習）の再履修者はドイツ語IA（演習）再履修クラスを、ドイツ語IB（実習）の再履修者はドイツ語IB（演習）再履修クラスを履修してください。

《ドイツ語Ⅱ（中級）》〔D2〕・《ドイツ語Ⅲ（上級）》〔D3〕 ※事前申込は p.55 参照

科目名	符号	開講期	単位	対象回生	事前申込	備考
ドイツ語ⅡA	D21A	前期	2	2 以上	要	中級
ドイツ語ⅡA（会話）	D22A	〃	2			
ドイツ語ⅡA（CALL）	D23A	〃	2			
ドイツ語ⅡA（ライティング）	D24A	〃	2			
ドイツ語Ⅱ（6Hコース）	D25	通年	12	2 以上	要	中級
ドイツ語ⅡB	D21B	後期	2	2 以上	要	中級
ドイツ語ⅡB（会話）	D22B	〃	2			
ドイツ語ⅡB（CALL）	D23B	〃	2			
ドイツ語ⅡB（ライティング）	D24B	〃	2			
ドイツ語ⅢA	D3A	前期	2	2 以上	要	上級
ドイツ語ⅢB	D3B	後期	2	2 以上		

【履修上の注意】

- ◇平成27年度以前の卒業要件が適用される学部生が履修し、単位を修得した場合には、上記単位数の2分の1が卒業に必要な単位として算入されます。
- ◇平成28年度以降の卒業要件が適用される学部生は、<初級>4単位以上、平成27年度以前の卒業要件が適用される学部生は、卒業に必要な単位として<初級>2単位以上をそれぞれ修得していること、または既修得単位認定されていることを履修の条件とします。<初級>の単位について、文法と実習（演習）の別は問いませんが、ドイツ語IAとIBの組み合わせで修得していることが望めます。また、入学時に初修外国語初級免除が認定されている学生も履修を認めます。
- ◇一開講期に2クラスまで履修することができます。ただし、卒業回生については例外措置を取ることがあります（p.58参照）。
- ◇<上級>は<中級>までの単位を修得した学生のための科目ですが、<中級>の代わりに履修することもできます。

◇下表のそれぞれの組合せは、同一テキストで授業を行うクラスのため、重複履修はできません。

組合せ	開講期	曜時限	科目名	クラス番号	担当教員
1	前期	月4	ドイツ語IIA	D2102	青木 三陽
	前期	火2	ドイツ語IIA	D2103	薦田 奈美
2	前期	水3	ドイツ語IIA	D2106	小林 哲也
	前期	水3	ドイツ語IIA	D2107	西脇 麻衣子
3	後期	月4	ドイツ語IIB	D2152	青木 三陽
	後期	火2	ドイツ語IIB	D2153	薦田 奈美

◆ フランス語 ◆

《フランス語Ⅰ（初級）》〔F1〕 ※事前申込は p.55 参照

科目名	符号	開講期	単位	対象回生	事前申込	備考
フランス語ⅠA（文法）	F11A	前期	2	1以上	学部2回 生以上は要	学部1回生向けクラス指定
フランス語ⅠA（演習）	F12A	〃	2			
フランス語Ⅰ（8Hコース）	F13	通年	16	1以上		
フランス語ⅠB（文法）再履修クラス	F11B	前期	2	2以上	要	文法は集中クラス（CALL）あり。集中クラスはIBまたはIの履修履歴のある者に限る。
フランス語ⅠB（演習）再履修クラス	F12B	〃	2			
フランス語ⅠB（文法）	F11B	後期	2	1以上	学部2回 生以上は要	学部1回生向けクラス指定
フランス語ⅠB（演習）	F12B	〃	2			
フランス語ⅠA（文法）再履修クラス	F11A	後期	2	1以上	要	文法は集中クラス（CALL）あり。集中クラスはIAまたはIの履修履歴のある者に限る。
フランス語ⅠA（演習）再履修クラス	F12A	〃	2			

【履修上の注意】

- ◇平成27年度以前の卒業要件が適用される学部生が履修し、単位を修得した場合には、上記単位数の2分の1が卒業に必要な単位として算入されます。再履修者で前期にIA、後期にIBの履修を希望する学生は、学部1回生向け指定クラスのいずれかを選び、履修してください。
- ◇学部2回生以上の新規履修者は、学部1回生向け指定クラスのいずれかを選び、履修してください。ただし、（文法）と（演習）の双方が必要な場合はペアとなっているクラスで履修してください。IA・IBを通して同じクラスで履修することが望まれます。
- ◇後期から新たにフランス語を履修する学生は、フランス語IA再履修クラスを履修してください。なお、文法の集中クラスは、再履修者に限るため履修できません。
- ◇<初級>の再履修者は、<初級>の再履修クラスを履修してください。<中級>・<上級>の単位で、<初級>に替えることはできません。
- ◇平成27年度まで開講のフランス語IA（実習）の再履修者はフランス語IA（演習）の再履修クラスを、フランス語IB（実習）の再履修者はフランス語IB（演習）の再履修クラスを履修してください。
- ◇（8Hコース）はクラス指定の（文法）と（演習）の代わりに履修することができます。ただし、再履修者を除きます。通年で16単位修得できますが、卒業に必要な単位として認められる単位数は各学部によって異なりますので、注意してください。

《フランス語Ⅱ（中級）》〔F2〕・《フランス語Ⅲ（上級）》〔F3〕 ※事前申込は p.55 参照

科目名	符号	開講期	単位	対象回生	事前申込	備考
フランス語ⅡA	F21A	前期	2	2以上	要	中級
フランス語ⅡA（演習）	F22A	〃	2			
フランス語Ⅱ（GHコース）	F23	通年	12	2以上	要	中級
フランス語ⅡB	F21B	後期	2	2以上	要	中級
フランス語ⅡB（演習）	F22B	〃	2			
フランス語ⅢA	F3A	前期	2	2以上	要	上級
フランス語ⅢB	F3B	後期	2			

【履修上の注意】

- ◇平成27年度以前の卒業要件が適用される学部生が履修し、単位を修得した場合には、上記単位数の2分の1が卒業に必要な単位として算入されます。

- ◇平成 28 年度以降の卒業要件が適用される学部生は、<初級>4 単位以上、平成 27 年度以前の卒業要件が適用される学部生は、卒業に必要な単位として<初級>2 単位以上をそれぞれ修得していること、既修得単位認定されていることを履修の条件とします。<初級>の単位はどのような組み合わせでもかまいません。また、入学時に初修外国語初級免除が認定されている学生も履修を認めます。ただし、平成 24 年度以前開講の 2H コースを修得していても、<中級>・<上級>を履修することはできません。
- ◇一開講期に 2 クラスまで履修することができます。ただし、卒業回生については例外措置を取ることがあります (p.58 参照)。<初級>とは異なり、(演習) とその他のクラスを組み合わせる必要はありません (例：フランス語IIA を 2 クラス履修することができます)。コース別の区分 (「運用能力アップコース」は「精読」「聴き取り」「作文」「発音フォローアップ」「文法フォローアップ」などが、「文明理解コース」は「フランス文化」「フランス文学」「政治経済」「マスメディア」などがあります) を参考にして、自分の目的に適したクラスを選択してください。
- ◇IIA (演習)・IIB (演習) は、平成 28 年度以降の卒業要件が適用される学部生は、計 4 単位まで、平成 27 年度以前の卒業要件が適用される学部生は、IIA (演習)・IIB (演習) の単位数の 2 分の 1 と、平成 28 年度まで開講のIIA (実習)・IIB (実習) の単位数とを合わせて 2 単位までしか卒業に必要な単位として認められません。
- ◇フランス語II (6H コース) は、半期科目ではなく通年科目で、これを履修すれば 12 単位が修得できます。卒業に必要な単位として認められる単位数は各学部によって異なりますので、注意してください。
- ◇<上級>は、<中級>までの単位を修得した学生のための科目ですが、<中級>の代わりに履修することもできます。
- ◇下表のそれぞれの組合せは、同一テキストで授業を行うクラスのため、重複履修はできません。

組合せ	開講期	曜時限	科目名	クラス番号	担当教員
1	前期	月 1	フランス語 IIA (演習)	F2201	Fauconnier, Franck
	前期	金 4	フランス語 IIA (演習)	F2204	GRAZIANI, Jean-Francois Rene
2	後期	月 1	フランス語 IIA (演習)	F2251	Fauconnier, Franck
	後期	金 4	フランス語 IIA (演習)	F2254	GRAZIANI, Jean-Francois Rene

◆ 中国語 ◆

中国語の学習歴のある学生が中国語の履修を希望する場合は、松江研究室 (吉田南総合館東南棟 3 階 325 号室) で相談してください。

《中国語 I (初級)》[C1] 事前申込は p.55 参照

科目名	符号	開講期	単位	対象回生	事前申込	備考
中国語 I A (文法)	C11A	前期	2	1 以上	学部 2 回生 以上は要	学部 1 回生向けクラス指定
中国語 I A (演習)	C12A	//	2			
中国語 I A (文法) 再履修クラス	C11A	前期集中	2	2 以上	要	集中クラス (CALL) (IA または I の履修履歴のある学生に限る。)
中国語 I A (演習) 再履修クラス	C12A	//	2			
中国語 I B (文法) 再履修クラス	C11B	前期	2			
中国語 I B (演習) 再履修クラス	C12B	//	2			
中国語 I B (文法)	C11B	後期	2	1 以上	学部 2 回生 以上は要	学部 1 回生向けクラス指定
中国語 I B (演習)	C12B	//	2			
中国語 I A (文法) 再履修クラス	C11A	後期	2	1 以上	要	IA または I の履修履歴のある学生に限る。集中クラス (CALL) あり。
中国語 I A (演習) 再履修クラス	C12A	//	2			
中国語 I B (文法) 再履修クラス	C11B	後期集中	2	2 以上		集中クラス (CALL) (IB または I の履修履歴のある学生に限る。)
中国語 I B (演習) 再履修クラス	C12B	//	2			

【履修上の注意】

- ◇平成 27 年度以前の卒業要件が適用される学部生が履修し、単位を修得した場合には、上記単位数の 2 分の 1 が卒業に必要な単位として算入されます。
- ◇(文法) と (演習) は同一テキストを使用し連携して授業を行うので、どちらか一方だけを履修登録することは原則としてできません。ペアとなっているクラスの (文法) と (演習) を両方履修してください。
- ◇中国語初級は後期からの新規履修を認めていません。
- ◇学部 2 回生以上の新規履修者は学部 1 回生向け指定クラスの (文法) と (演習) を両方履修してください。ただし、同一クラスの (文法) と (演習) を並行して履修してください。IA・IB を通して同じクラスで履修することが望まれます。

◇<初級>の再履修者は、<初級>の再履修クラスを履修してください。<中級>の単位で、<初級>に替えることはできません。

◇平成27年度まで開講の中国語IA（実習）の再履修者は中国語IA（演習）の再履修クラスを、中国語IB（実習）の再履修者は中国語IB（演習）の再履修クラスを履修してください。

《中国語Ⅱ（中級）》〔C2〕 ※事前申込は p.55 参照

科目名	符号	開講期	単位	対象回生	事前申込	備考
中国語ⅡA [文法・文化理解]	C2A	前期	2	2以上	要	[文法・文化理解]、[会話・ネイティブ実習] はクラス名。
中国語ⅡA [会話・ネイティブ実習]	C2A	前期	2			
中国語ⅡB [文法・文化理解]	C2B	後期	2	2以上	要	[文法・文化理解]、[会話・ネイティブ実習] はクラス名。
中国語ⅡB [会話・ネイティブ実習]	C2B	後期	2			

【履修上の注意】

◇平成27年度以前の卒業要件が適用される学部生が履修し、単位を修得した場合には、上記単位数の2分の1が卒業に必要な単位として算入されます。

◇平成28年度以降の卒業要件が適用される学部生は、<初級>4単位以上、平成27年度以前の卒業要件が適用される学部生は、卒業に必要な単位として<初級>2単位以上をそれぞれ修得していること、既修得単位認定されていることを履修の条件とします。また、入学時に初修外国語初級免除が認定されている学生も履修を認めます。

◇一開講期に2クラスまで履修することができます。ただし、卒業回生については例外措置を取ることがあります (p.58 参照)。

◇原則として、[文法・文化理解] クラスと [会話・ネイティブ実習] クラスから1クラスずつ選択してください。

◇下表のそれぞれの組合せは、同一テキストで授業を行うクラスのため、重複履修はできません。

組合せ	開講期	曜時限	科目名	クラス番号	担当教員
1	前期	月2	中国語ⅡA [会話・ネイティブ実習]	C213	劉 愛群
	前期	月5	中国語ⅡA [会話・ネイティブ実習]	C216	劉 愛群
	前期	火3	中国語ⅡA [会話・ネイティブ実習]	C217	劉 愛群
2	前期	水2	中国語ⅡA [文法・文化理解]	C204	山本 浩史
	前期	木2	中国語ⅡA [文法・文化理解]	C207	大賀 晶子
3	後期	月2	中国語ⅡB [会話・ネイティブ実習]	C263	劉 愛群
	後期	月5	中国語ⅡB [会話・ネイティブ実習]	C266	劉 愛群
	後期	火3	中国語ⅡB [会話・ネイティブ実習]	C267	劉 愛群
4	後期	水2	中国語ⅡB [文法・文化理解]	C252	山本 浩史
	後期	木2	中国語ⅡB [文法・文化理解]	C257	大賀 晶子

◆ ロシア語 ◆

《ロシア語Ⅰ（初級）》〔R1〕

科目名	符号	開講期	単位	対象回生	備考
ロシア語ⅠA (文法)	R11A	前期	2	1以上	
ロシア語ⅠA (演習)	R12A	〃	2		
ロシア語ⅠB (文法)	R11B	後期	2	1以上	
ロシア語ⅠB (演習)	R12B	〃	2		

【履修上の注意】

◇平成27年度以前の卒業要件が適用される学部生が履修し、単位を修得した場合には、上記単位数の2分の1が卒業に必要な単位として算入されます。

◇(文法)と(演習)の両方とも履修してください。なお、履修する順序は、IAからとします。

◇ロシア語初級は後期からの新規履修を認めていません。

◇授業は、回生・学部・クラスを問わずに履修可能です。

◇緊急で止むを得ない場合(たとえば1つのクラスに1回生だけで50名を超す履修者が来たような場合)には、2回生以上の学生は他の曜日・時限のクラスに移るなどの履修指導を実施する可能性があります。(2)学部1回生の履修クラスについて③ (p.54) 参照

《ロシア語Ⅱ（中級）》〔R2〕・《ロシア語Ⅲ（上級）》〔R3〕

科目名	符号	開講期	単位	対象回生	備考
ロシア語ⅡA	R2A	前期	2	2以上	中級
ロシア語ⅡB	R2B	後期	2	2以上	中級
ロシア語ⅢA	R3A	前期	2	2以上	上級
ロシア語ⅢB	R3B	後期	2	2以上	

【履修上の注意】

- ◇平成27年度以前の卒業要件が適用される学部生が履修し、単位を修得した場合には、上記単位数の2分の1が卒業に必要な単位として算入されます。
- ◇平成28年度以降の卒業要件が適用される学部生は、<初級>4単位以上、平成27年度以前の卒業要件が適用される学部生は、卒業に必要な単位として<初級>2単位以上をそれぞれ修得していること、または既修得単位認定されていることを履修の条件とします。また、入学時に初修外国語初級免除が認定されている学生も履修を認めます。
- ◇一開講期に原則として2クラスまで履修することができます。
- ◇<上級>は、<中級>までの単位を修得した学生のための科目ですが、<中級>の代わりに履修することもできます。

◆ イタリア語 ◆

《イタリア語Ⅰ（初級）》〔I1〕

科目名	符号	開講期	単位	対象回生	備考
イタリア語ⅠA（文法）	I11A	前期	2	1以上	「イタリア語ⅠA（4Hコース）」と同一科目の扱い
イタリア語ⅠA（演習）	I12A	〃	2	1以上	「イタリア語ⅠA（4Hコース）」と同一科目の扱い
イタリア語ⅠA（4Hコース）	I13A	前期	4	1以上	「イタリア語ⅠA（文法）」、「イタリア語ⅠA（演習）」と同一科目の扱い
イタリア語ⅠB（文法）	I11B	後期	2	1以上	「イタリア語ⅠB（4Hコース）」と同一科目の扱い
イタリア語ⅠB（演習）	I12B	〃	2	1以上	「イタリア語ⅠB（4Hコース）」と同一科目の扱い
イタリア語ⅠB（4Hコース）	I13B	後期	4	1以上	「イタリア語ⅠB（文法）」、「イタリア語ⅠB（演習）」と同一科目の扱い

【履修上の注意】

- ◇平成27年度以前の卒業要件が適用される学部生が履修し、単位を修得した場合には、上記単位数の2分の1が卒業に必要な単位として算入されます。
- ◇文法・演習、または4HコースのいずれかのクラスでIA・IBを通して履修することを強く推奨します。クラス変更を希望する場合は授業担当教員に相談してください。
- ◇4Hコースは週2回のセット科目で文法を集中的に学びます。2回とも履修してください。
- ◇IA（4Hコース）はIA（文法）、IA（演習）の各々と、IB（4Hコース）はIB（文法）、IB（演習）の各々と同一科目として判定します。なお、同一科目判定される科目の単位を複数修得した場合、いずれの科目の修得年度・修得期が早いかにかかわらず、4Hコースの単位を卒業に必要な単位として認定します。
- ◇イタリア語初級は後期からの新規履修を認めていません。

《イタリア語Ⅱ（中級）》〔I2〕

科目名	符号	開講期	単位	対象回生	備考
イタリア語ⅡA	I21A	前期	2	2以上	
イタリア語ⅡA（演習）	I22A	〃	2		
イタリア語ⅡB	I21B	後期	2	2以上	
イタリア語ⅡB（演習）	I22B	〃	2		

【履修上の注意】

- ◇平成27年度以前の卒業要件が適用される学部生が履修し、単位を修得した場合には、上記単位数の2分の1が卒業に必要な単位として算入されます。
- ◇<初級>4単位以上を修得していること（「イタリア語ⅡA（I2102）」を履修する場合は「イタリア語ⅡB（4Hコース）」の単位を修得しているのが望ましい）、または既修得単位認定されていることを履修の条件とします。また、入学時に初修外国語初級免除が認定されている学生も履修を認めます。
- ◇一開講期に原則として2クラスまで履修することができます。ただしその場合、少なくとも1クラスは（演習）以外のクラスを選択してください。
- ◇「イタリア語ⅡA」は2クラス（I2101, I2102）開講されますが、「イタリア語ⅡB（I2152）」を履修するためには、このうち「イタリア語ⅡA（I2102）」を履修しておくことが望まれます。

◆ スペイン語 ◆

《スペイン語 I (初級)》〔S1〕 事前申込は p.55 参照

科目名	符号	開講期	単位	対象回生	事前申込	備考
スペイン語 I A (文法)	S11A	前期	2	1 以上	学部 2 回生以上の「新規*」履修者はスペイン語ポータルサイト内から別途申込を受け付ける	学部 1 回生向けクラス指定 ※「新規」履修者とは、過去に I A を履修登録したことがない学生のことをいう。
スペイン語 I A (演習)	S12A	//	2			
スペイン語 I A (会話)	S13A	前期集中	2			
スペイン語 I A (文法) 再履修クラス	S11A	前期集中	2	2 以上	スペイン語ポータルサイト内から別途申込を受け付ける	集中クラス (CALL) (I A または I の履修履歴のある学生に限る。)
スペイン語 I A (演習) 再履修クラス	S12A	//	2			
スペイン語 I B (文法) 再履修クラス	S11B	前期集中	2			
スペイン語 I B (演習) 再履修クラス	S12B	//	2			
スペイン語 I B (文法)	S11B	後期	2	1 以上	学部 2 回生以上の「新規*」履修者はスペイン語ポータルサイト内から別途申込を受け付ける	学部 1 回生向けクラス指定 ※「新規」履修者とは、過去に I A を履修し、かつ、I B を履修登録したことがない学生のことをいう。
スペイン語 I B (演習)	S12B	//	2			
スペイン語 I B (会話)	S13B	後期集中	2			
スペイン語 I A (文法) 再履修クラス	S11A	後期集中	2	1 以上	スペイン語ポータルサイト内から別途申込を受け付ける	集中クラス (CALL) (I A または I の履修履歴のある学生に限る。)
スペイン語 I A (演習) 再履修クラス	S12A	//	2			
スペイン語 I B (文法) 再履修クラス	S11B	後期集中	2	2 以上	スペイン語ポータルサイト内から別途申込を受け付ける	集中クラス (CALL) (I B または I の履修履歴のある学生に限る。)
スペイン語 I B (演習) 再履修クラス	S12B	//	2			

【履修上の注意】

- ◇ スペイン語 I については、次のサイトを教科書として用います。授業には PC あるいはタブレットを持参してください。紙の教科書は使いません。
<https://esp-kyoto-u.com>
- ◇ 平成 27 年度以前の卒業要件が適用される学部生が履修し、単位を修得した場合には、上記単位数の 2 分の 1 が卒業に必要な単位として算入されます。
- ◇ スペイン語初級は後期からの新規履修を認めていません。
- ◇ 原則同一クラスの (文法) と (演習) を両方とも履修してください。
- ◇ 学部 2 回生以上の新規履修者 (大学院生含む) は、学部 1 回生向けクラス指定科目を履修してください。ただし、(文法) と (演習) はペアとなっているクラスで履修してください。申し込みはスペイン語ポータルサイト内から受け付けます。詳細は、別途掲示する注意事項を確認してください。
- ◇ <初級>の再履修者は、<初級>の再履修クラスを履修してください。<中級>の単位で、<初級>に替えることはできません。申し込みは外国語予備登録期間に、スペイン語ポータルサイト内で受け付けます。詳細は、別途掲示する注意事項を確認してください。
- ◇ 再履修者は学部 1 回生向けクラス指定科目を履修することはできません。
- ◇ 平成 27 年度まで開講のスペイン語 I A (実習) の再履修者はスペイン語 I A (演習) の再履修クラスを、スペイン語 I B (実習) の再履修者はスペイン語 I B (演習) の再履修クラスを履修してください。
- ◇ (会話) については、スペイン語学習歴がない場合は (文法) と (演習) との並行履修をしてください。また、学部によっては卒業単位として認められないことがあるので、所属学部の規定をよく確認してください。特殊な形態のコー

スであるため、欠席の扱いも他のコースとは異なります。シラバスを熟読してください。

《スペイン語Ⅱ（中級）》〔S2〕 ※事前申込は p.55 参照

科目名	符号	開講期	単位	対象回生	事前申込	備考
スペイン語ⅡA	S21A	前期	2	2以上	要	
スペイン語ⅡA（演習）	S22A	〃	2			
スペイン語ⅡB	S21B	後期	2	2以上	要	
スペイン語ⅡB（演習）	S22B	〃	2			

【履修上の注意】

- ◇平成27年度以前の卒業要件が適用される学部生が履修し、単位を修得した場合には、上記単位数の2分の1が卒業に必要な単位として算入されます。
- ◇スペイン語ⅡB（文法）の単位を修得していること、既修得認定されていること、または入学時に初修外国語初級免除が認定されていることを履修の条件とします。なお、前期にスペイン語ⅡB（文法）再履修クラスを履修し、単位を修得した場合は、後期から<中級>を履修することが可能です。
- ◇一開講期に2クラスまで履修することができます。ただしその場合、前期はⅡAとⅡA（演習）、後期はⅡBとⅡB（演習）の組み合わせに限定されます。
- ◇下表のそれぞれの組合せは、同一テキストで授業を行うクラスのため、重複履修はできません。

組合せ	開講期	曜時限	科目名	クラス番号	担当教員
1	前期	火4	スペイン語ⅡA	S2101	牛島 万
	前期	火4	スペイン語ⅡA	S2102	川添 誠
	前期	火4	スペイン語ⅡA	S2103	柿原 武史
	前期	水4	スペイン語ⅡA	S2104	駒村 幸
	前期	水5	スペイン語ⅡA	S2105	駒村 幸
2	前期	水5	スペイン語ⅡA（演習）	S2201	BAINOTTI, Alberto Emilio
	前期	木2	スペイン語ⅡA（演習）	S2202	HEVIA PENNA PABLO ANTONIO
	前期	金4	スペイン語ⅡA（演習）	S2203	Perez de Camino Fernandez Jose Antonio
	前期	金4	スペイン語ⅡA（演習）	S2204	Aguilar, Milton
	前期	金4	スペイン語ⅡA（演習）	S2205	RIOS SALOMA Monica
3	後期	火4	スペイン語ⅡB	S2151	牛島 万
	後期	火4	スペイン語ⅡB	S2152	川添 誠
	後期	火4	スペイン語ⅡB	S2153	柿原 武史
	後期	水4	スペイン語ⅡB	S2154	駒村 幸
	後期	水5	スペイン語ⅡB	S2155	駒村 幸
4	後期	水5	スペイン語ⅡB（演習）	S2251	BAINOTTI, Alberto Emilio
	後期	木2	スペイン語ⅡB（演習）	S2252	HEVIA PENNA PABLO ANTONIO
	後期	金4	スペイン語ⅡB（演習）	S2253	Perez de Camino Fernandez Jose Antonio
	後期	金4	スペイン語ⅡB（演習）	S2254	Aguilar, Milton
	後期	金4	スペイン語ⅡB（演習）	S2255	RIOS SALOMA Monica

◆ 朝鮮語 ◆

《朝鮮語Ⅰ（初級）》〔K1〕

科目名	符号	開講期	単位	対象回生	備考
朝鮮語ⅠA（文法）	K11A	前期	2	1以上	
朝鮮語ⅠA（演習）	K12A	〃	2		
朝鮮語ⅠB（文法）	K11B	後期	2	1以上	
朝鮮語ⅠB（演習）	K12B	〃	2		

【履修上の注意】

- ◇平成27年度以前の卒業要件が適用される学部生が履修し、単位を修得した場合には、上記単位数の2分の1が卒業に必要な単位として算入されます。

- ◇ (文法) と (演習) の両方とも履修してください。
- ◇ 朝鮮語初級は後期からの新規履修を認めていません。

《朝鮮語Ⅱ (中級)》〔K2〕

科目名	符号	開講期	単位	対象回生	備考
朝鮮語ⅡA	K21A	前期	2	2以上	
朝鮮語ⅡA (演習)	K22A	//	2		
朝鮮語ⅡB	K21B	後期	2	2以上	
朝鮮語ⅡB (演習)	K22B	//	2		

【履修上の注意】

- ◇ 平成 27 年度以前の卒業要件が適用される学部生が履修し、単位を修得した場合には、上記単位数の 2 分の 1 が卒業に必要な単位として算入されます。
- ◇ 平成 28 年度以降の卒業要件が適用される学部生は、<初級>4 単位以上、平成 27 年度以前の卒業要件が適用される学部生は、卒業に必要な単位として<初級>2 単位以上をそれぞれ修得していること、または既修得単位認定されていることを履修の条件とします。また、入学時に初修外国語初級免除が認定されている学生も履修を認めます。
- ◇ 一開講期に原則として 2 クラスまで履修することができます。

◆ アラビア語 ◆

《アラビア語Ⅰ (初級)》〔A1〕

科目名	符号	開講期	単位	対象回生	事前申込	備考
アラビア語ⅠA (文法)	A11A	前期	2	1 以上	学部 2 回生以上は要	学部 1 回生向けクラス指定
アラビア語ⅠA (演習)	A12A	//	2			
アラビア語ⅠB (文法)	A11B	後期	2	1 以上	学部 2 回生以上は要	学部 1 回生向けクラス指定
アラビア語ⅠB (演習)	A12B	//	2			

【履修上の注意】

- ◇ 平成 27 年度以前の卒業要件が適用される学部生が履修し、単位を修得した場合には、上記単位数の 2 分の 1 が卒業に必要な単位として算入されます。
- ◇ (文法) と (演習) の両方とも履修してください。
- ◇ アラビア語初級は後期からの新規履修を認めていません。
- ◇ 令和 7 年度のアラビア語初級においては人数制限を実施する都合上、<初級>の再履修者も、学部 1 回生向け指定クラスを履修してください。ただし、前期・後期とも事前申込が必要です。授業開始前に申し込みを受け付ける予定ですが、詳細は掲示等でお知らせします。

《アラビア語Ⅱ (中級)》〔A2〕

科目名	符号	開講期	単位	対象回生	備考
アラビア語ⅡA	A21A	前期	2	2 以上	講読
アラビア語ⅡA (演習)	A22A	//	2		
アラビア語ⅡB	A21B	後期	2	2 以上	講読
アラビア語ⅡB (演習)	A22B	//	2		

【履修上の注意】

- ◇ 平成 27 年度以前の卒業要件が適用される学部生が履修し、単位を修得した場合には、上記単位数の 2 分の 1 が卒業に必要な単位として算入されます。
- ◇ 平成 28 年度以降の卒業要件が適用される学部生は、<初級>4 単位以上、平成 27 年度以前の卒業要件が適用される学部生は、卒業に必要な単位として<初級>2 単位以上をそれぞれ修得していること、または既修得単位認定されていることを履修の条件とします。また、入学時に初修外国語初級免除が認定されている学生も履修を認めます。
- ◇ IIB の講読を履修する学生は、IIA の講読を修得していることが望まれます。
- ◇ 一開講期に原則として 2 クラスまで履修することができます。

◆ 日本語 ◆

日本語は、外国人留学生対象のクラスです。次の表は、学部正規生が履修することができる科目です。

科目名	開講期	単位	対象回生	履修条件等
日本語初級ⅠA(4Hコース)	前期	4	1以上	工学部地球工学科国際コース生優先クラス
日本語初級ⅠB(4Hコース)	後期	4		
日本語初級ⅡA(4Hコース)	前期	4	1以上	
日本語初級ⅡB(4Hコース)	後期	4		
日本語中級ⅠA(4Hコース)	前期	4	1以上	外国人留学生対象
日本語中級ⅠB(4Hコース)	後期	4		
日本語中級Ⅰ(8Hコース)	前期・後期	8	1以上	
日本語中級Ⅰ(会話)	前期・後期	2		
日本語中級Ⅰ(聴解)		2		
日本語中級Ⅰ(読解)		2		
日本語中級Ⅰ(作文)		2		
日本語中級Ⅰ(漢字)		2		
日本語中級ⅡA(4Hコース)		前期	4	
日本語中級ⅡB(4Hコース)	後期	4		
日本語中級Ⅱ(8Hコース)	前期・後期	8	1以上	
日本語中級Ⅱ(会話)	前期・後期	2		
日本語中級Ⅱ(聴解)		2		
日本語中級Ⅱ(読解)		2		
日本語中級Ⅱ(作文)		2		
日本語上級(聴解)		前期・後期	2	
日本語上級(会話)	2			
日本語上級(読解)	2			
日本語上級(作文)	2			
日本語上級(論文・レポート作成)	2			
日本語上級(講義聴解)	2			
日本語上級(研究発表)	2			
日本語上級(討論技術)	2			
日本語中級Ⅰ(6Hコース)	前期		6	1以上
日本語中級Ⅱ(6Hコース)	前期・後期	6		
日本語上級(レポート作成基礎A・B)	前期・後期	2		
日本語上級(文献講読ⅠA・ⅠB)	前期・後期	2		
日本語上級(文献講読ⅡA・ⅡB)	前期・後期	2		
日本語上級(文献講読ⅢA・ⅢB)	前期・後期	2		

【履修上の注意】

- ◇平成27年度以前の卒業要件が適用される学部生が上記科目を履修し、単位を修得した場合には、上記単位数の2分の1が卒業に必要な単位として算入されます。
- ◇日本語登録手続きの詳細は各開講期の授業開始前に各学部・研究科等を通じて別途お知らせします。
以下のURLを通して手続きの案内を行いますので、必ず確認してください。
<https://www.z.k.kyoto-u.ac.jp/introduction/education-center-for-japanese/japanese-language-classes/zenkyo-japanese/>
履修登録手続きは KULASIS ではできません。国際高等教育院ウェブサイトの「日本語授業登録ページ」にアクセスし、所定の手続きを行ってください。
なお、適正クラスサイズの確保のために人数制限を設けています。
- ◇日本語初級Ⅱ以上のレベルの科目を履修する場合は、プレースメントテストを受けなければなりません。テスト結果によっては、希望するクラスの履修が認められない場合があります。ただし、自己診断とテスト結果に大きな差があると思われる場合は日本語の履修科目登録相談期間中に日本語コーディネーターと相談することができます。なお、前学期の履修状況・成績によってプレースメントテストを免除することがあります。